

平成16年11月29日

記者発表資料

一般国道10号延岡道路

「延岡若あゆ大橋」の連結式を開催

建設が進む一般国道10号延岡道路(2工区 L=7.8km)で五ヶ瀬川に架かる「延岡若あゆ大橋」の本体橋が完成し、下記のとおり平成16年12月12日(日)に連結式を開催します。

「延岡若あゆ大橋」は五ヶ瀬川と大瀬川の分流地点に架かる今回供用する区間で最長の橋長735mの橋梁です。工事は下部工を平成12年度に着手し、上部工は平成13年度に着手してから5年あまりでこのたびの連結式を迎えることになりました。

この連結により今回供用区間の延岡道路はひとつの線としてつながることになります。

今後は高欄及び舗装などの仕上げ工事を行い平成17年度の供用を目指しています。

日時：平成16年12月12日(日)
10時30分より(受付10時00分)

場所：宮崎県延岡市吉野町～三須町(延岡若あゆ大橋橋面上)

主催：株式会社ピーエス三菱九州支店
オリエンタル建設株式会社福岡支店

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所
延岡市大貫町1丁目2889
TEL：0982-31-1155

技術副所長 すえよし ひでゆき
末吉 秀幸(内線205)

工務第二課長 いくた しげる
生田 茂(内線411)

「延岡若あゆ大橋」の概要

位 置：延岡市吉野町～三須町

橋 長：735m

幅 員：10.5m（2車線）

上部工形式：PC6径間連続ラーメン箱桁橋＋鋼6径間連続非合成鈹桁

特 徴：上部工は、外ケーブル構造を用いたPC橋梁を採用しており、緊張材をすべてコンクリート部材内に配置した内ケーブル構造に比較して施工性、経済性などで優れています。また、下部工については、五ヶ瀬川河川部の橋脚の施工に新工法である無人化のニューマチックケーソン工法を導入しており、有人化に比べて、安全性、経済性に利点があります。

「延岡若あゆ大橋」



H16.9.30撮影

会場案内図

